十三日厚生省令第三十五号)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則(
イゾ	九月	

(傍線部分は部分)

	14
6~13 (略)	6~13 (略)
掲げるとおりとする。	掲げるとおりとする。
の項までの第二欄に掲げる物質ごとにそれぞれ当該各項の第三欄に	の項までの第二欄に掲げる物質ごとにそれぞれ当該各項の第三欄に
該処理したものに含まれる判定基準省令別表第六の一の項から二三	該処理したものに含まれる判定基準省令別表第六の一の項から二四
の第二欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当	の第二欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当
れる別表第一の各項の第一欄に掲げる物質ごとにそれぞれ当該各項	れる別表第一の各項の第一欄に掲げる物質ごとにそれぞれ当該各項
のが、廃酸又は廃アルカリの場合は当該廃酸又は廃アルカリに含ま	のが、廃酸又は廃アルカリの場合は当該廃酸又は廃アルカリに含ま
下水汚泥を処分するために処理したものについて、当該処理したも	下水汚泥を処分するために処理したものについて、当該処理したも
ものに係る環境省令で定める基準は、令第二条の四第五号二の指定	ものに係る環境省令で定める基準は、令第二条の四第五号二の指定
、令第二条の四第五号二の指定下水汚泥を処分するために処理した	、令第二条の四第五号二の指定下水汚泥を処分するために処理した
に掲げる物質ごとにそれぞれ当該各項の第二欄に掲げるとおりとし	に掲げる物質ごとにそれぞれ当該各項の第二欄に掲げるとおりとし
基準省令」という。)別表第一の一の項から二三の項までの第一欄	基準省令」という。)別表第一の一の項から二四の項までの第一欄
判定基準を定める省令(昭和四十八年総理府令第五号。以下「判定	判定基準を定める省令(昭和四十八年総理府令第五号。以下「判定
準は、当該指定下水汚泥に含まれる金属等を含む産業廃棄物に係る	準は、当該指定下水汚泥に含まれる金属等を含む産業廃棄物に係る
5 令第二条の四第五号二の指定下水汚泥に係る環境省令で定める基	5 令第二条の四第五号二の指定下水汚泥に係る環境省令で定める基
2-4 (略)	2~4 (略)
第一条の二 (略)	第一条の二 (略)
(令第二条の四の環境省令で定める基準等)	(令第二条の四の環境省令で定める基準等)
現	改正案

限る。 第 理したものが、 設において生じたものに限る。) 又は燃え殻 (国内において生じた は当該処理したものに含まれる判定基準省令別表第六の二四の項の 同項の第二欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリ以外の場合 リに含まれる別表第 つて生じたものを除き、同表の一四の項に掲げる施設において生じ ものにあつては、 令第二条の四第五号ワのこれらの廃棄物を処分するために処理した 第二欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、 て 同表の一四の項に掲げる施設において生じたものに限る。) につい 表第三の一三の項又は める基準は、 たものに限る。 たものにあつては、 ものに係る環境省令で定める基準は、ばいじん(国内において生じ 条第四項第二号に掲げる廃棄物の焼却に伴つて生じたものを除き これらの廃棄物に含まれる判定基準省令別表第五の二四の項の |欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げるとおりとする) 又は燃え殻 (国内において生じたものにあつては、 ばいじん(国内において生じたものにあつては、 廃酸又は廃アルカリの場合は当該廃酸又は廃アルカ)を処分するために処理したものについて、 法第二条第四項第二号に掲げる廃棄物の焼却に伴 令別表第三の一三の項又は一四の項に掲げる施 の二四の項の第一欄に掲げる物質に対応する 四の項に掲げる施設において生じたものに 法第二 当該処 令別

にあつては、令別表第三の一五の項に掲げる施設において生じたも にあつ(トリクロロエチレンに限る。)に限り、国内において生じたもの (トリー)(今第二条の四第五号力の環境省令で定める基準は、廃油(廃溶剤 4 令第

15

にあつては、令別表第三の一三の項に掲げる施設において生じたも(トリクロロエチレンに限る。)に限り、国内において生じたもの令第二条の四第五号ワの環境省令で定める基準は、廃油 (廃溶剤

16 同項の第二欄に掲げるとおりとし、廃油、廃酸又は廃アルカリ以外 のに含まれる別表第一の一〇の項の第一欄に掲げる物質に対応する したものが、 ものに限る。) を処分するために処理したものについて、当該処理 のにあつては、 は当該処理したものに含まれる判定基準省令別表第六の九の項の第 第二欄に掲げるとおりとし、 含まれる別表第一の九の項の第一欄に掲げる物質に対応する同項の はないこととし、廃酸又は廃アルカリの場合は当該処理したものに たものが、 のに限る。 (テトラクロロエチレンに限る。) に限り、国内において生じたも ではないこととし、廃酸又は廃アルカリの場合は当該処理したも |欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げるとおりとする。 令第二条の四第五号ヨの環境省令で定める基準は、廃油 (廃溶剤)を処分するために処理したものについて、当該処理し 廃油の場合は廃溶剤 (トリクロロエチレンに限る。 廃油の場合は廃溶剤(テトラクロロエチレンに限る。 令別表第三の一六の項に掲げる施設において生じた 廃油、廃酸又は廃アルカリ以外の場合 <u></u>で 15

のが、廃油の場合は廃溶剤(ジクロロメタンに限る。)ではないこでは、令別表第三の一七の項に掲げる施設において生じたものにのにがクロロメタンに限る。)に限り、国内において生じたものにあい。(ジクロロメタンに限る。)に限り、国内において生じたものにあい。

とする。

の項の第一

の場合は当該処理したものに含まれる判定基準省令別表第六の一〇

|欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げるとおり

16

とする。 の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げるとおり の場合は当該処理したものに含まれる判定基準省令別表第六の一〇 同項の第二欄に掲げるとおりとし、廃油、 のに含まれる別表第一の一〇の項の第一欄に掲げる物質に対応する)ではないこととし、廃酸又は廃アルカリの場合は当該処理したも したものが、廃油の場合は廃溶剤(テトラクロロエチレンに限る。 ものに限る。) を処分するために処理したものについて、当該処理 のにあつては、令別表第三の一四の項に掲げる施設において生じた 二欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げるとおりとする。 は当該処理したものに含まれる判定基準省令別表第六の九の項の第 第二欄に掲げるとおりとし、廃油、廃酸又は廃アルカリ以外の場合 含まれる別表第一の九の項の第一欄に掲げる物質に対応する同項の はないこととし、廃酸又は廃アルカリの場合は当該処理したものに たものが、廃油の場合は廃溶剤(トリクロロエチレンに限る。 のに限る。) を処分するために処理したものについて、当該処理し (テトラクロロエチレンに限る。) に限り、国内において生じたも 令第二条の四第五号力の環境省令で定める基準は、 廃酸又は廃アルカリ以外 廃油 (廃溶剤 し で

のが、廃油の場合は廃溶剤(ジクロロメタンに限る。)ではないこ限る。)を処分するために処理したものについて、当該処理したものに(ジクロロメタンに限る。)に限り、国内において生じたものにあ、(ジタロロメタンに限る。)に限り、国内において生じたものにあ、令第二条の四第五号ヨの環境省令で定める基準は、廃油(廃溶剤

に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げるとおりとする。処理したものに含まれる判定基準省令別表第六の一一の項の第二欄に掲げるとおりとし、廃油、廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当該別表第一の一一の項の第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄ととし、廃酸又は廃アルカリの場合は当該処理したものに含まれる

物質に対応する同項の第三欄に掲げるとおりとする。 (四塩化炭素に限る。)に限り、国内において生じたものにあつては、令別表第三の一八の項に掲げる施設において生じたものに限る。)を処分するために処理したものについて、当該処理したものが、廃油の場合は廃溶剤(四塩化炭素に限る。)ではないこととし、廃強又は廃アルカリの場合は当該処理したものがの出の項の第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるを設定される別表第一の一二の項の第一欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げるを設定される別表第一の一二の項の第一欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げるを設定される別表第一の一二の項の第一欄に掲げる物質に対応するにあつてとおりとする。 (四塩化炭素に限る。)ではないこととし、廃油の項の第三欄に掲げるとおりとする。 (四塩化炭素に限る。)ではないこととのでは、原油の質が関でで定める基準は、廃油(廃溶剤 17 マ第二条の四第五号レの環境省令で定める基準は、廃油(廃溶剤 17 マ第二条の四第五号レの環境省令で定める基準は、廃油(廃溶剤 18 マ第二条の四第五号レの環境省令で定める基準は、廃油(廃溶剤 18 マ第二条の四第五号レの環境省令で定める基準は、廃油(廃溶剤 18 マ第二条の四第五号レの環境省令で定める基準は、廃油(廃溶剤 18 マ第二条の四第五号レの環境省令で定める基準は、原油(廃溶剤 18 マ第二条の四第五号レの環境省令で定める基準は、原油に掲げる

する同項の第二欄に掲げるとおりとし、廃油、廃酸又は廃アルカリーをものに含まれる別表第一の一三の項の第一欄に掲げる物質に対応たものにあつては、令別表第三の一九の項に掲げる施設において生じたものにあつては、令別表第三の一九の項に掲げる施設において生じた。 (一・二 ジクロロエタンに限る。) に限り、国内において生じたの第二条の四第五号ソの環境省令で定める基準は、廃油 (廃溶剤

18

。) を処分するために処理したものについて、当該処理したものが 物質に対応する同項の第三欄に掲げるとおりとする。 ものに含まれる判定基準省令別表第六の一二の項の第二欄に掲げる とおりとし、廃油、廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当該処理した の一二の項の第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げる 廃酸又は廃アルカリの場合は当該処理したものに含まれる別表第 は、令別表第三の一六の項に掲げる施設において生じたものに限る に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げるとおりとする 処理したものに含まれる判定基準省令別表第六の一一の項の第一 に掲げるとおりとし、廃油、廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当該 別表第一の一一の項の第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二 ととし、廃酸又は廃アルカリの場合は当該処理したものに含まれる (四塩化炭素に限る。) に限り、国内において生じたものにあつて 廃油の場合は廃溶剤 (四塩化炭素に限る。) ではないこととし、 令第二条の四第五号夕の環境省令で定める基準は、 廃油 (廃溶剤

する同項の第二欄に掲げるとおりとし、廃油、廃酸又は廃アルカリモのに含まれる別表第一の一三の項の第一欄に掲げる物質に対応たものにあつては、令別表第三の一七の項に掲げる施設において生じたのにあつては、令別表第三の一七の項に掲げる施設において生じたのにあっては、令別表第三の一七の項に掲げる施設において生じたの第二条の四第五号レの環境省令で定める基準は、廃油(廃溶剤

60 にする。 一三の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げると以外の場合は当該処理したものに含まれる判定基準省令別表第六の

酸又は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定基(シス 一・二 ジクロロエチレンに限る。)ではないこととし、廃酸又は廃アルカリの場合は当該処理したものにあつては、令別表第三の二一の項に掲げる施設にお場合は当該処理したものに含まれる別表第三の二一の項に掲げる施設にお場合は当該処理したものに含まれる別表第三の二一の項に掲げる施設におり、コー・ニ ジクロロエチレンに限る。)に限り、国内においる第二条の四第五号名の環境省令で定める基準は、廃油(廃溶剤)

20

おりとする。 一三の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げると以外の場合は当該処理したものに含まれる判定基準省令別表第六の

本の一四の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げたものにあつては、令別表第三の一八の項に掲げる施設において生じたものにあつては、令別表第三の一八の項に掲げる施設において生に限る。) ではないこととし、廃酸又は廃アルカリの場合は当該処理したものに含まれる別表第三の一八の項に掲げる施設において生じたものにあつては、令別表第三の一八の項に掲げる施設において生じたものにあつては、令別表第三の一八の項に掲げる施設において生じたものにあつではないこととし、廃酸又は廃アルカリの場合は当該処理したものに含まれる判定基準省令別表第三の一八の項に掲げる施設において生じたものにあつではないこととし、廃政とは、廃油、廃油の関連の第二欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げるの一型の項の第三欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げるとおりとする。

酸又は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定基掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、廃油、廃いて生じたものにあつては、令別表第三の一九の項に掲げる施設におて生じたものにあつては、令別表第三の一九の項に掲げる施設におて生じたものにあつては、令別表第三の一九の項に掲げる施設において第二条の四第五号ツの環境省令で定める基準は、廃油(廃溶剤

第三欄に掲げるとおりとする。 準省令別表第六の一五の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項の

令別表第六の一七の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項の第三(一・一・二 トリクロエタンに限る。)を処分するために処理したものにあいては、令別表第三の二三の項に掲げる施設において生じたものにあっては、令別表第三の二三の項に掲げる施設において生じたものにあっては、令別表第三の二三の項に掲げる施設において、る第二条の四第五号ラの環境省令で定める基準は、廃油(廃溶剤23 令第二条の四第五号ラの環境省令で定める基準は、廃油(廃溶剤23 令第二条の四第五号ラの環境省令で定める基準は、廃油(廃溶剤

第三欄に掲げるとおりとする。準省令別表第六の一五の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項の

欄に掲げるとおりとする。
一・一・一 トリクロロエタンに限る。) に限り、国内において生じたものにあつては、令別表第三の二〇の項に掲げる施設においは当該処理したものに含まれる別表第三の二〇の項に掲げる施設において生じたものにあつては、令別表第三の二〇の項に掲げる施設においてまが質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、廃油、廃酸又は廃アルカリの場合は発アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる別表第三の二〇の項に掲げる施設において、今別表第二条の四第五号ネの環境省令で定める基準は、廃油(廃溶剤 令第二条の四第五号ネの環境省令で定める基準は、廃油(廃溶剤

令別表第六の一七の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項の第三(一・一・二 トリクロエタンに限る。)ではないこととし、廃酸又は廃アルカリの場合は当該処理したものに含まれる別表第三の二一の項に掲げる施設において生じたものにあつては、令別表第三の二一の項に掲げる施設において、当該処理したものに含まれる別表第三の二一の項に掲げる施設において、当該処理したものに含まれる別表第三の二一の項に掲げる施設において、今別表第三条の四第五号ナの環境省令で定める基準は、廃油(廃溶剤

22

欄に掲げるとおりとする。

24 るとおりとする。 対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、廃油、廃酸又は廃アル 理したものに含まれる別表第一の一八の項の第一欄に掲げる物質に に限る。) ではないこととし、廃酸又は廃アルカリの場合は当該処 処理したものが、 じたものに限る。) を処分するために処理したものについて、当該 たものにあつては、 カリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定基準省令別表第 六の一八の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げ (一・三)ジクロロプロペンに限る。) に限り、国内において生じ 令第二条の四第五号ムの環境省令で定める基準は、 廃油の場合は廃溶剤 (一・三) ジクロロプロペン 令別表第三の二四の項に掲げる施設において生 廃油 (廃溶剤 23

(ベンゼンに限る。)に限り、国内において生じたものにあつては、令別表第三の二五の項に掲げる施設において生じたものに限る。)を処分するために処理したものについて、当該処理したものが、 一次の第二欄に掲げる物質に対応する同項の第一欄に掲げる物質に対応する同項の第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、廃油、廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものが、 一次の 一切とし、廃職に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとする。)に限り、国内において生じたものにあつてはでがでする同項の第五号ウの環境省令で定める基準は、廃油(廃溶剤の第二条の四第五号ウの環境省令で定める基準は、廃油(廃溶剤の 一切が ではないこととし、廃酸 に対応する同項の第三欄に掲げるとおりとする。

欄に掲げるとおりとする。

るとおりとする。 ・ 令第二条の四第五号ラの環境省令で定める基準は、廃油 (廃溶剤 や第二条の四第五号ラの環境省令で定める基準は、廃油 (廃溶剤 とおりとする。) に限り、国内において生じたものにあつては、令別表第三の二二の項に掲げる施設において生じたものにあつては、令別表第三の二二の項に掲げる施設において生じに限る。) ではないこととし、廃酸又は廃アルカリの場合は当該処理したものに含まれる別表第三の二二の項に掲げる施設において生じたものにあつては、令別表第三の二二の項に掲げる施設において生じたものにあつては、令別表第三の二二の項に掲げる施設において生じたものにあつては、令別表第三の二二の項に掲げる施設において生じたものに含まれる別表第三の二二の項に掲げる施設において生じたものにあるとおりとする。) に限り、国内において生じたものにあっては、令別表第三の二十の項に掲げるを記している。) に限り、国内において生じたものにあっては、令別表第三の二十の項に掲げる施設において生じたものにあっては、令別表第三の二十の項に掲げる施設において生じたものにある。) に限り、国内において生じる。

に対応する同項の第三欄に掲げるとおりとする。 (ベンゼンに限る。) に限り、国内において生じたものにあつてはアルカリの場合は発潜したものについて、当該処理したものが、一つとし、廃油の場合は発達省令別表第六の二二の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、廃油、廃酸又は廃アルカリの場合は当該処理したものに含まれる別表第一の二三の項に掲げる施設において生じたものに限る。 (ベンゼンに限る。) に限り、国内において生じたものにあつては今第二条の四第五号ムの環境省令で定める基準は、廃油(廃溶剤

26

令第二条の四第五号ヰの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省

24

処理したものについて、当該処理したものが、廃酸又は廃アルカリ る工場又は事業場において生じたものに限る。) を処分するために 国内において生じたものにあつては、令別表第三の二六の項に掲げ 令第二条の四第五号中のこれらの廃棄物を処分するために処理した 欄に掲げる物質ごとに対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 含まれる判定基準省令別表第五の一の項の第二欄に掲げる物質に対 令で定める基準は、 の第三欄に掲げるとおりとする。 定基準省令別表第六の一の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項 の場合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一の項の第 ものに係る環境省令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ(いては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一の項の第一 応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリにつ において生じたものに限る。) のうち、汚泥については当該汚泥に たものにあつては、 欄に掲げる物質ごとに対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし 廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判 汚泥、 令別表第三の二六の項に掲げる工場又は事業場 廃酸又は廃アルカリ(国内において生じ

応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリにつ含まれる判定基準省令別表第五の二の項の第二欄に掲げる物質に対たものにあつては、令別表第三の二七の項に掲げる工場又は事業場令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ(国内において生じ27 令第二条の四第五号丿の汚泥、廃酸又は廃アルカリ(国内において生じ

の第三欄に掲げるとおりとする 定基準省令別表第六の一の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項 の場合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一の項の第 処理したものについて、当該処理したものが、廃酸又は廃アルカリ る工場又は事業場において生じたものに限る。) を処分するために 国内において生じたものにあつては、令別表第三の二四の項に掲げ ものに係る環境省令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ (令第二条の四第五号ウのこれらの廃棄物を処分するために処理した 欄に掲げる物質ごとに対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 いては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一の項の第一 応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリにつ 含まれる判定基準省令別表第五の一の項の第二欄に掲げる物質に対 において生じたものに限る。) のうち、汚泥については当該汚泥に たものにあつては、 令で定める基準は、汚泥、 一欄に掲げる物質ごとに対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし 廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判 令別表第三の二四の項に掲げる工場又は事業場 廃酸又は廃アルカリ (国内において生じ

応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリにつ令まれる判定基準省令別表第五の二の項の第二欄に掲げる物質に対たものにあつては、令別表第三の二五の項に掲げる工場又は事業場で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ(国内において生じる第二条の四第五号中の汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省

に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、令第個に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる別では、一次の四第五号ノのこれらの廃棄物を処分するために処理したものに掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、一令第一個では、一次の四第五号ノのこれらの廃棄物を処分するために処理したものに掲げるとおりとし、一次第一個で別表第六の二の項の第二欄に掲げるとおりとし、一次第一個に掲げるとおりとする。

において生じたものにあつては、 欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、|令第 応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリにつ 含まれる判定基準省令別表第五の三の項の第二欄に掲げる物質に対 令で定める基準は、 いては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の三の項の第一 において生じたものに限る。) のうち、汚泥については当該汚泥に たものにあつては、 に係る環境省令で定める基準は、 |条の四第五号才のこれらの廃棄物を処分するために処理したもの | 令第二条の四第五号オの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省 令別表第三の二八の項に掲げる工場又は事業場 汚泥、廃酸又は廃アルカリ (国内において生じ 汚泥、 令別表第三の二八の項に掲げる工 廃酸又は廃アルカリ (国内

28

27

に掲げるとおりとする。

に掲げるとおりとする。

に掲げるとおりとする。

に掲げるとおりとする。

に掲げるとおりとする。

に掲げるとおりとする。

に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 令網標に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 令網標に掲げるとおりとする。

は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものが、 廃酸又は 廃アルカリの場合は当該廃酸又は 廃アルカリに含まれる別表第一の二の項の第一欄に掲げるとおりとする。

は廃アルカリに含まれる別表第一の二の項の第一欄に掲げるとおりとする。

において生じたものにあつては、令別表第三の二六の項に掲げる工令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ (国内において生じたものに限る。)のうち、汚泥については当該廃酸又は廃アルカリに含まれる判定基準省令別表第三の二六の項に掲げるとおりとし、令第一の一切の第三欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げる物質に対応する時間の第三欄に掲げる物質に対応の電子がである基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリにの第一次第二条の四第五号ノの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省で第二条の四第五号ノの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省

29

28

は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定基準省 場又は事業場において生じたものに限る。) を処分するために処理 欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、令第 含まれる判定基準省令別表第五の四の項の第二欄に掲げる物質に対 令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ (国内において生じ において生じたものにあつては、令別表第三の二九の項に掲げる工 に係る環境省令で定める基準は、 いては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の四の項の第一 応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリにつ において生じたものに限る。) のうち、汚泥については当該汚泥に たものにあつては、 に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の四の項の第一欄 したものについて、当該処理したものが、廃酸又は廃アルカリの場 |条の四第五号クのこれらの廃棄物を処分するために処理したもの 令第二条の四第五号クの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省 令別表第三の二九の項に掲げる工場又は事業場 汚泥、廃酸又は廃アルカリ (国内 廃酸又

は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定基準省 に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の四の項の第一欄 したものについて、当該処理したものが、廃酸又は廃アルカリの場 場又は事業場において生じたものに限る。) を処分するために処理 において生じたものにあつては、令別表第三の二七の項に掲げる工 に係る環境省令で定める基準は、 欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 いては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の四の項の第一 応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリにつ 含まれる判定基準省令別表第五の四の項の第二欄に掲げる物質に対 において生じたものに限る。) のうち、汚泥については当該汚泥に たものにあつては、令別表第三の二七の項に掲げる工場又は事業場 令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ (国内において生じ 二条の四第五号オのこれらの廃棄物を処分するために処理したもの 令第二条の四第五号オの汚泥、 汚泥、廃酸又は廃アルカリ (国内 廃酸又は廃アルカリに係る環境省

に掲げるとおりとする。 令別表第六の四の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄

30 は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定基準省 場又は事業場において生じたものに限る。) を処分するために処理 欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、令第 応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリにつ 令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ (国内において生じ 令別表第六の五の項の第二 に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、廃酸又 合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の五の項の第一欄 したものについて、当該処理したものが、廃酸又は廃アルカリの場 において生じたものにあつては、令別表第三の三〇の項に掲げる工 に係る環境省令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ(国内 含まれる判定基準省令別表第五の五の項の第二欄に掲げる物質に対 において生じたものに限る。) のうち、汚泥については当該汚泥に に掲げるとおりとする いては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の五の項の第一 たものにあつては、令別表第三の三〇の項に掲げる工場又は事業場 ||条の四第五号ヤのこれらの廃棄物を処分するために処理したもの | 令第二条の四第五号ヤの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省 |欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄 29

たものにあつては、令別表第三の三一の項に掲げる工場又は事業場令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ(国内において生じ31)令第二条の四第五号マの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省

に掲げるとおりとする。 令別表第六の四の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄

令別表第六の五の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄 は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定基準省 に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の五の項の第一欄 したものについて、当該処理したものが、廃酸又は廃アルカリの場 場又は事業場において生じたものに限る。) を処分するために処理 において生じたものにあつては、令別表第三の二八の項に掲げる工 に係る環境省令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ(国内 二条の四第五号クのこれらの廃棄物を処分するために処理したもの 欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 いては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の五の項の第一 応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリにつ 含まれる判定基準省令別表第五の五の項の第二欄に掲げる物質に対 において生じたものに限る。) のうち、汚泥については当該汚泥に たものにあつては、令別表第三の二八の項に掲げる工場又は事業場 令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ (国内において生じ に掲げるとおりとする。 | 令第二条の四第五号クの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省

たものにあつては、令別表第三の二九の項に掲げる工場又は事業場令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ(国内において生じ30)令第二条の四第五号ヤの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省

は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定基準省 に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、廃酸又 場又は事業場において生じたものに限る。) を処分するために処理 において生じたものにあつては、 欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、|令第 令別表第六の六の項の第二 合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の六の項の第一欄 したものについて、当該処理したものが、廃酸又は廃アルカリの場 に係る環境省令で定める基準は、 いては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の六の項の第一 応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリにつ 含まれる判定基準省令別表第五の六の項の第二欄に掲げる物質に対 において生じたものに限る。) のうち、汚泥については当該汚泥に に掲げるとおりとする 二条の四第五号マのこれらの廃棄物を処分するために処理したもの |欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄 令別表第三の三一の項に掲げる工 汚泥、廃酸又は廃アルカリ (国内

欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、令第一令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ(国内において生じたものに限る。)のうち、汚泥については当該汚泥において生じたものに限る。)のうち、汚泥については当該汚泥にいては当該廃酸又は廃アルカリにの三二の項に掲げる工場又は事業場において生じたものに限る。)のうち、汚泥については当該汚泥にの第二欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、令第二条の四第五号ケの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省 31

に掲げるとおりとする。 令別表第六の六の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄 は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定基準省 に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の六の項の第一欄 したものについて、当該処理したものが、廃酸又は廃アルカリの場 場又は事業場において生じたものに限る。) を処分するために処理 において生じたものにあつては、令別表第三の二九の項に掲げる工 に係る環境省令で定める基準は、 二条の四第五号ヤのこれらの廃棄物を処分するために処理したもの 欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 いては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の六の項の第一 応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリにつ 含まれる判定基準省令別表第五の六の項の第二欄に掲げる物質に対 において生じたものに限る。) のうち、汚泥については当該汚泥に 汚泥、廃酸又は廃アルカリ (国内

欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、令第いるまれる判定基準省令別表第五の七の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリについては、令別表第三の三〇の項に掲げる工場又は事業場で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ(国内において生じを等二条の四第五号マの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省

33 場又は事業場において生じたものに限る。) を処分するために処理 欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、|令第| 応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリにつ 含まれる判定基準省令別表第五の八の項の第二欄に掲げる物質に対 令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ (国内において生じ したものについて、当該処理したものが、 において生じたものにあつては、 いては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の八の項の第一 において生じたものに限る。) のうち、汚泥については当該汚泥に に係る環境省令で定める基準は、 たものにあつては、令別表第三の三三の項に掲げる工場又は事業場 ||条の四第五号ブのこれらの廃棄物を処分するために処理したもの 令第二条の四第五号ブの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省 汚泥、廃酸又は廃アルカリ (国内 令別表第三の三三の項に掲げる工 廃酸又は廃アルカリの場 32

二条の四第五号マのこれらの廃棄物を処分するために処理したものに掲げるとおりとする。
 において生じたものにあつては、令別表第二の三〇の項に掲げる工は廃アルカリに含まれる別表第一の七の項の第一欄は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものが、廃酸又は廃アルカリの場に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリの場に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリ(国内に掲げるとおりとする。)

したものについて、当該処理したものが、廃酸又は廃アルカリの場 場又は事業場において生じたものに限る。 において生じたものにあつては、 に係る環境省令で定める基準は、 二条の四第五号ケのこれらの廃棄物を処分するために処理したもの 欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 いては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の八の項の第一 応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリにつ 含まれる判定基準省令別表第五の八の項の第二欄に掲げる物質に対 において生じたものに限る。) のうち、汚泥については当該汚泥に たものにあつては、令別表第三の三一の項に掲げる工場又は事業場 令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ (国内において生じ 令第二条の四第五号ケの汚泥、 汚泥、 廃酸又は廃アルカリに係る環境省 令別表第三の三一の項に掲げる工 廃酸又は廃アルカリ(国内)を処分するために処理

に掲げるとおりとする。 令別表第六の八の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定基準省に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、廃酸又合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の八の項の第一欄

34

は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定基準省 場又は事業場において生じたものに限る。) を処分するために処理 欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、|令第| 含まれる判定基準省令別表第五の九の項の第二欄に掲げる物質に対 令で定める基準は、汚泥、 において生じたものにあつては、 に係る環境省令で定める基準は、 いては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の九の項の第一 応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリにつ に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の九の項の第一欄 したものについて、当該処理したものが、廃酸又は廃アルカリの場 において生じたものに限る。) のうち、汚泥については当該汚泥に たものにあつては、 |条の四第五号コのこれらの廃棄物を処分するために処理したもの 令第二条の四第五号コの汚泥、 令別表第三の三四の項に掲げる工場又は事業場 廃酸又は廃アルカリ (国内において生じ 令別表第三の三四の項に掲げる工 汚泥、廃酸又は廃アルカリ (国内 廃酸又は廃アルカリに係る環境省 廃酸又 33

令別表第六の九の項の第二

|欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄

に掲げるとおりとする。

に掲げるとおりとする。
令別表第六の八の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定基準省に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、廃酸又合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の八の項の第一欄

に掲げるとおりとする 令別表第六の九の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄 は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定基準省 に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の九の項の第一欄 場又は事業場において生じたものに限る。) を処分するために処理 において生じたものにあつては、令別表第三の三二の項に掲げる工 に係る環境省令で定める基準は、 欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、|令第 いては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の九の項の第一 応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリにつ 含まれる判定基準省令別表第五の九の項の第二欄に掲げる物質に対 において生じたものに限る。) のうち、汚泥については当該汚泥に たものにあつては、令別表第三の三二の項に掲げる工場又は事業場 令で定める基準は、汚泥、 したものについて、当該処理したものが、廃酸又は廃アルカリの場 二条の四第五号フのこれらの廃棄物を処分するために処理したもの 令第二条の四第五号フの汚泥、 廃酸又は廃アルカリ (国内において生じ 汚泥、 廃酸又は廃アルカリに係る環境省 廃酸又は廃アルカリ(国内 廃酸又

35 廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定 の場合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一〇の項の 処理したものについて、当該処理したものが、廃酸又は廃アルカリ 国内において生じたものにあつては、令別表第三の三五の項に掲げ ものに係る環境省令で定める基準は、 令第二条の四第五号エのこれらの廃棄物を処分するために処理した 対応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリに の第三欄に掲げるとおりとする。 基準省令別表第六の一〇の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項 る工場又は事業場において生じたものに限る。) を処分するために ついては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一〇の項の 含まれる判定基準省令別表第五の一○の項の第二欄に掲げる物質に において生じたものに限る。) のうち、汚泥については当該汚泥に 令で定める基準は、 たものにあつては、 令第二条の四第五号エの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省 欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 令別表第三の三五の項に掲げる工場又は事業場 汚泥、 廃酸又は廃アルカリ(国内において生じ 汚泥、廃酸又は廃アルカリ(34

> 国内において生じたものにあつては、令別表第三の三三の項に掲げ の第三欄に掲げるとおりとする。 基準省令別表第六の一〇の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項 廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定 第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 の場合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一〇の項の 処理したものについて、当該処理したものが、廃酸又は廃アルカリ る工場又は事業場において生じたものに限る。) を処分するために ものに係る環境省令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ (令第二条の四第五号コのこれらの廃棄物を処分するために処理した 第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 ついては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一〇の項の 対応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリに 含まれる判定基準省令別表第五の一〇の項の第二欄に掲げる物質に において生じたものに限る。) のうち、汚泥については当該汚泥に たものにあつては、令別表第三の三三の項に掲げる工場又は事業場 令で定める基準は、汚泥、 令第二条の四第五号コの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省 廃酸又は廃アルカリ (国内において生じ

含まれる判定基準省令別表第五の一一の項の第二欄に掲げる物質ににおいて生じたものに限る。)のうち、汚泥については当該汚泥にやで定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ(国内において生じる)令第二条の四第五号工の汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省

ものに係る環境省令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ(令が定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリに含まれる判定基準省令別表第五の一二の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリにの1ついては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別定基準省令別表第三の三七の項に掲げる工場又は事業場で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ(国内において生じたものに係る。)のうち、汚泥については当該汚泥にの1ついては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一二の項の第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げる工場又は事業場で第二条の四第五号アの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省の「令第二条の四第五号アの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省の「令第二条の四第五号アの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省の

の第三欄に掲げるとおりとする。

の第三欄に掲げるとおりとする。

の第三欄に掲げるとおりとする。

の第三欄に掲げるとおりとする。

の第三欄に掲げるとおりとする。

の第三欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、等一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、第一欄に掲げるとおりとしたものにある環境省令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ(国内において生じたものにあつては、令別表第三の三四の項に掲げるとおりとし、の場合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一一の項の第三欄に掲げるとおりとする。

ものに係る環境省令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ(含まれる判定基準省令別表第五の一二の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げる物質において生じたものに限る。)のうち、汚泥については当該汚泥に合まれる判定基準省令別表第三の三五の項に掲げる工場又は事業場で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ(国内において生じる第二条の四第五号デの汚泥、廃酸又は廃アルカリにほる環境省令第二条の四第五号デの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省

36

の第三欄に掲げるとおりとする。

本準省令別表第六の一二の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項の場合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一二の項の場合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一二の項のの場合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一二の項のの第三欄に掲げるとおりとし、当該処理したものに限る。)を処分するために国内において生じたものにあつては、令別表第三の三七の項に掲げ

38

第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 処理したものについて、当該処理したものが、廃酸又は廃アルカリ る工場又は事業場において生じたものに限る。) を処分するために 国内において生じたものにあつては、 令第二条の四第五号サのこれらの廃棄物を処分するために処理した 第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 令で定める基準は、 の場合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一三の項の ものに係る環境省令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ (ついては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一三の項の 対応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリに 含まれる判定基準省令別表第五の一三の項の第二欄に掲げる物質に において生じたものに限る。) のうち、汚泥については当該汚泥に たものにあつては、令別表第三の三八の項に掲げる工場又は事業場 令第二条の四第五号サの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省 汚泥、廃酸又は廃アルカリ (国内において生じ 令別表第三の三八の項に掲げ 37

の第三欄に掲げるとおりとする。 事一欄に掲げる物質に対応する同項の場合は当該廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものについて、当該処理したものが、廃酸又は廃アルカリとし、の場合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一二の項の処理したものについて、当該処理したものが、廃酸又は廃アルカリ国内において生じたものにあつては、令別表第三の三五の項に掲げ国内において生じたものにあつては、令別表第三の三五の項に掲げ

たものにあつては、令別表第三の三六の項に掲げる工場又は事業場 第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 の場合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一三の項の 処理したものについて、当該処理したものが、 る工場又は事業場において生じたものに限る。) を処分するために 国内において生じたものにあつては、 ものに係る環境省令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ (令第二条の四第五号アのこれらの廃棄物を処分するために処理した 第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 ついては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一三の項の 対応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリに 含まれる判定基準省令別表第五の一三の項の第二欄に掲げる物質に において生じたものに限る。) のうち、汚泥については当該汚泥に 令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ (国内において生じ 令第二条の四第五号アの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省 令別表第三の三六の項に掲げ 廃酸又は廃アルカリ

の第三欄に掲げるとおりとする。基準省令別表第六の一三の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定

39 令 第 I の場合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一四の項の 処理したものについて、当該処理したものが、廃酸又は廃アルカリ る工場又は事業場において生じたものに限る。) を処分するために 国内において生じたものにあつては、令別表第三の三九の項に掲げ 含まれる判定基準省令別表第五の一四の項の第二欄に掲げる物質に 基準省令別表第六の一四の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項 廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定 ものに係る環境省令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ(ついては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一四の項の 対応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリに において生じたものに限る。) のうち、汚泥については当該汚泥に たものにあつては、 令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ (国内において生じ の第三欄に掲げるとおりとする。 令第二条の四第五号キの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省 欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 |条の四第五号キのこれらの廃棄物を処分するために処理した 令別表第三の三九の項に掲げる工場又は事業場 38

令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ(国内において生じ40~令第二条の四第五号ユの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省

の第三欄に掲げるとおりとする。基準省令別表第六の一三の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定

廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定 の第三欄に掲げるとおりとする。 基準省令別表第六の一四の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項 第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 の場合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一四の項の 処理したものについて、当該処理したものが、廃酸又は廃アルカリ る工場又は事業場において生じたものに限る。 国内において生じたものにあつては、 ものに係る環境省令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ (令第二条の四第五号サのこれらの廃棄物を処分するために処理した 第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし ついては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一四の項の 対応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリに 含まれる判定基準省令別表第五の一四の項の第二欄に掲げる物質に において生じたものに限る。) のうち、汚泥については当該汚泥に たものにあつては、令別表第三の三七の項に掲げる工場又は事業場 令で定める基準は、汚泥、 令第二条の四第五号サの汚泥、 廃酸又は廃アルカリ (国内において生じ 廃酸又は廃アルカリに係る環境省 令別表第三の三七の項に掲げ)を処分するために

| 令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ (国内において生じ||39|||令第二条の四第五号书の汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省||

基準省令別表第六の一五の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項 第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 の場合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一五の項の 処理したものについて、当該処理したものが、廃酸又は廃アルカリ 令第二条の四第五号ユのこれらの廃棄物を処分するために処理した 対応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリに の第三欄に掲げるとおりとする。 廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定 る工場又は事業場において生じたものに限る。) を処分するために 国内において生じたものにあつては、令別表第三の四〇の項に掲げ ものに係る環境省令で定める基準は、 含まれる判定基準省令別表第五の一五の項の第二欄に掲げる物質に において生じたものに限る。) のうち、汚泥については当該汚泥に たものにあつては、令別表第三の四〇の項に掲げる工場又は事業場 ついては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一五の項の 欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 汚泥、廃酸又は廃アルカリ(

ては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一六の項の第一令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリについたものにあつては、令別表第三の四一の項に掲げる工場又は事業場において生じたものに限る。)のうち、汚泥については当該汚泥につで定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ(国内において生じる第二条の四第五号メの汚泥、廃酸又は廃アルカリ(国内において生じ

処理したものについて、当該処理したものが、廃酸又は廃アルカリ の第三欄に掲げるとおりとする。 基準省令別表第六の一五の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項 廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定 第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし の場合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一五の項の る工場又は事業場において生じたものに限る。) を処分するために 国内において生じたものにあつては、令別表第三の三八の項に掲げ ものに係る環境省令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ (令第二条の四第五号キのこれらの廃棄物を処分するために処理した 第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 ついては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一五の項の 対応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリに 含まれる判定基準省令別表第五の一五の項の第二欄に掲げる物質に において生じたものに限る。) のうち、汚泥については当該汚泥に たものにあつては、令別表第三の三八の項に掲げる工場又は事業場

ては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一六の項の第一令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリについておいて生じたものに限る。)のうち、汚泥については当該汚泥において生じたものに限る。)のうち、汚泥については当該汚泥につがでする同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリ(国内において生じや・で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ(国内において生じる第二条の四第五号ユの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省

42 国内において生じたものにあつては、 ものに係る環境省令で定める基準は、 令第二条の四第五号ミのこれらの廃棄物を処分するために処理した 対応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリに 含まれる判定基準省令別表第五の一七の項の第二欄に掲げる物質に 令で定める基準は、 る工場又は事業場において生じたものに限る。) を処分するために ついては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一七の項の において生じたものに限る。) のうち、汚泥については当該汚泥に たものにあつては、 令第二条の四第五号三の汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省 欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 汚泥、廃酸又は廃アルカリ (国内において生じ 令別表第三の四二の項に掲げる工場又は事業場 令別表第三の四二の項に掲げ 汚泥、廃酸又は廃アルカリ (

三欄に掲げるとおりとする。
三欄に掲げるとおりとする。
三欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、廃酸以は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる別表第一の一六の項の第一に係る環境省令で定める基準は、令別表第三の三九の項に掲げる工品を設定が、場談とは、一次の項の第一個に掲げるとおりとし、一会第一個に掲げるとおりとする。

る工場又は事業場において生じたものに限る。)を処分するために、令第二条の四第五号メのこれらの廃棄物を処分するためにおいて生じたものにあつては、令別表第三の四〇の項に掲げる物質に対応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリに含まれる判定基準省令別表第五の一七の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げる大切とし、廃酸又は廃アルカリにのででにある基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリにの項の第二人のの第三人のこれらの廃棄物を処分するために処理したの第二人のの第三人のこれらの廃棄物を処分するために処理したの第二人のの第一人の原の第三人の一七の項の第二人の関の第三人の方とのの項に掲げる物質に対応する同項の第二人の項の第二人の方ととおりとし、第一人の方の第三人の方法、廃酸又は廃アルカリに係る環境省や第二条の四第五号メの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省の第二人のの第三人の方法、原酸又は廃アルカリに係る環境省の第二人のののののでは、のの項に掲げるとおりとし、ののでは、ののでは、のののの項に掲げるとおりとし、のののでは、のののでは、ののののでは、ののののののでは、のののでは、のののでは、のののでは、ののののでは、ののののでは、ののでは、のののでは、の

41

の第三欄に掲げるとおりとする。
基準省令別表第六の一七の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、の場合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一七の項の処理したものについて、当該処理したものが、廃酸又は廃アルカリ

43 基準省令別表第六の一八の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項 の場合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一八の項の 処理したものについて、当該処理したものが、廃酸又は廃アルカリ 国内において生じたものにあつては、令別表第三の四三の項に掲げ ものに係る環境省令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ(令第二条の四第五号シのこれらの廃棄物を処分するために処理した 対応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリに 含まれる判定基準省令別表第五の一八の項の第二欄に掲げる物質に 令で定める基準は、 廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定 る工場又は事業場において生じたものに限る。) を処分するために ついては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一八の項の において生じたものに限る。) のうち、汚泥については当該汚泥に たものにあつては、令別表第三の四三の項に掲げる工場又は事業場 令第二条の四第五号シの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省 欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 汚泥、廃酸又は廃アルカリ (国内において生じ

> の第三欄に掲げるとおりとする。 基準省令別表第六の一七の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、の場合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一七の項の処理したものについて、当該処理したものが、廃酸又は廃アルカリ

42

廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定 第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 の場合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一八の項の 処理したものについて、当該処理したものが、 る工場又は事業場において生じたものに限る。) を処分するために 国内において生じたものにあつては、令別表第三の四一の項に掲げ ものに係る環境省令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ (令第二条の四第五号三のこれらの廃棄物を処分するために処理した 第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし ついては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一八の項の 対応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリに 含まれる判定基準省令別表第五の一八の項の第二欄に掲げる物質に において生じたものに限る。) のうち、汚泥については当該汚泥に たものにあつては、令別表第三の四一の項に掲げる工場又は事業場 令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ (国内において生じ 令第二条の四第五号三の汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省 廃酸又は廃アルカリ

基準省令別表第六の一八の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項

の第三欄に掲げるとおりとする。

44 廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定 の場合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一九の項の 処理したものについて、当該処理したものが、廃酸又は廃アルカリ 国内において生じたものにあつては、 令で定める基準は、 基準省令別表第六の一九の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項 る工場又は事業場において生じたものに限る。) を処分するために ものに係る環境省令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ (ついては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一九の項の 対応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリに 含まれる判定基準省令別表第五の一九の項の第二欄に掲げる物質に たものにあつては、 の第三欄に掲げるとおりとする。 において生じたものに限る。) のうち、汚泥については当該汚泥に 令第二条の四第五号ヱの汚泥、 欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 |条の四第五号ヱのこれらの廃棄物を処分するために処理した 汚泥、廃酸又は廃アルカリ (国内において生じ 令別表第三の四四の項に掲げる工場又は事業場 廃酸又は廃アルカリに係る環境省 令別表第三の四四の項に掲げ 43

において生じたものに限る。)のうち、汚泥については当該汚泥にたものにあつては、令別表第三の四五の項に掲げる工場又は事業場令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ(国内において生じ45)令第二条の四第五号ヒの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省

の第三欄に掲げるとおりとする。

の第三欄に掲げるとおりとする。 基準省令別表第六の一九の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項 廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定 第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 の場合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一九の項の 処理したものについて、当該処理したものが、 る工場又は事業場において生じたものに限る。) を処分するために 国内において生じたものにあつては、令別表第三の四二の項に掲げ ものに係る環境省令で定める基準は、 令第二条の四第五号シのこれらの廃棄物を処分するために処理した 第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし ついては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の一九の項の 対応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリに 含まれる判定基準省令別表第五の一九の項の第二欄に掲げる物質に において生じたものに限る。) のうち、汚泥については当該汚泥に たものにあつては、令別表第三の四二の項に掲げる工場又は事業場 令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ (国内において生じ 令第二条の四第五号シの汚泥、 廃酸又は廃アルカリに係る環境省 汚泥、 廃酸又は廃アルカリ(廃酸又は廃アルカリ

において生じたものに限る。)のうち、汚泥については当該汚泥にたものにあつては、令別表第三の四三の項に掲げる工場又は事業場令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ(国内において生じ4)令第二条の四第五号ヱの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省

第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 の場合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の二〇の項の 処理したものについて、当該処理したものが、廃酸又は廃アルカリ の第三欄に掲げるとおりとする。 基準省令別表第六の二〇の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項 廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定 る工場又は事業場において生じたものに限る。) を処分するために 国内において生じたものにあつては、令別表第三の四五の項に掲げ ものに係る環境省令で定める基準は、 令第二条の四第五号ヒのこれらの廃棄物を処分するために処理した 対応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリに 含まれる判定基準省令別表第五の二〇の項の第二欄に掲げる物質に ついては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の二〇の項の 欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 汚泥、 廃酸又は廃アルカリ (

令第二条の四第五号モのこれらの廃棄物を処分するために処理した。 やで定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ(国内において生じたものに限る。)のうち、汚泥については当該汚泥については当該廃酸又は廃アルカリに含まれる判定基準省令別表第三の四六の項に掲げる工場又は事業場において生じたものに限る。)のうち、汚泥については当該汚泥にのいては当該廃酸又は廃アルカリ(国内において生じを第二条の四第五号モの汚泥、廃酸又は廃アルカリ(国内において生じる第二条の四第五号モの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省

> の第三欄に掲げるとおりとする。 基準省令別表第六の二〇の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項 廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定 第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし の場合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の二〇の項の 処理したものについて、当該処理したものが、廃酸又は廃アルカリ る工場又は事業場において生じたものに限る。) を処分するために 国内において生じたものにあつては、令別表第三の四三の項に掲げ ものに係る環境省令で定める基準は、 令第二条の四第五号ヱのこれらの廃棄物を処分するために処理した 第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 ついては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の二〇の項の 対応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリに 含まれる判定基準省令別表第五の二〇の項の第二欄に掲げる物質に 汚泥、 廃酸又は廃アルカリ (

令第二条の四第五号ビのこれらの廃棄物を処分するために処理したやで定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ(国内において生じたものに限る。)のうち、汚泥については当該廃酸又は廃アルカリに含まれる判定基準省令別表第三の四四の項に掲げる工場又は事業場において生じたものに限る。)のうち、汚泥については当該汚泥については当該廃酸又は廃アルカリに関が、全第二条の四第五号ビの汚泥、廃酸又は廃アルカリ(国内において生じな)の第二級の関節の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリに係る環境省の第二条の四第五号ビの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省の

47

の場合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の二二の項の 処理したものについて、 る工場又は事業場において生じたものに限る。) を処分するために 国内において生じたものにあつては、 ものに係る環境省令で定める基準は、 令第二条の四第五号セのこれらの廃棄物を処分するために処理した 含まれる判定基準省令別表第五の二二の項の第二欄に掲げる物質に 令で定める基準は、 対応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリに において生じたものに限る。) のうち、汚泥については当該汚泥に たものにあつては、 ついては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の二二の項の 令第二条の四第五号セの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省 欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 汚泥、廃酸又は廃アルカリ (国内において生じ 令別表第三の四七の項に掲げる工場又は事業場 当該処理したものが、廃酸又は廃アルカリ 令別表第三の四七の項に掲げ 汚泥、廃酸又は廃アルカリ(46

の第三欄に掲げるとおりとする。
ものに係る環境省令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ
の場合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の二一の項の
第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、
第一欄に掲げる物質において生じたものに限る。) を処分するために
の第三欄に掲げる物質において生じたものに限る。) を処分するために
の第三欄に掲げる場質の第二欄に掲げる物質に対応する同項の
の第三欄に掲げるとおりとする。

令第二条の四第五号毛のこれらの廃棄物を処分するために処理した常一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、合まれる判定基準省令別表第五の二二の項の第二欄に掲げる物質ににおいて生じたものに限る。)のうち、汚泥については当該汚泥ににおいて生じたものに限る。)のうち、汚泥については当該汚泥にでで定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ(国内において生じる第二条の四第五号毛の汚泥、廃酸又は廃アルカリ(国内において生じる第二条の四第五号毛の汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省

の場合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の二二の項の処理したものについて、当該処理したものが、廃酸又は廃アルカリ国内において生じたものにあつては、令別表第三の四五の項に掲げものに係る環境省令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ(

の第三欄に掲げるとおりとする。基準省令別表第六の二二の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、

48

基準省令別表第六の二三の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項 の場合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の二三の項の 処理したものについて、当該処理したものが、廃酸又は廃アルカリ 国内において生じたものにあつては、令別表第三の四八の項に掲げ 令第二条の四第五号スのこれらの廃棄物を処分するために処理した 対応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリに の第三欄に掲げるとおりとする。 廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定 る工場又は事業場において生じたものに限る。) を処分するために ものに係る環境省令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ(ついては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の二三の項の 含まれる判定基準省令別表第五の二三の項の第二欄に掲げる物質に において生じたものに限る。) のうち、汚泥については当該汚泥に 令で定める基準は、 たものにあつては、令別表第三の四八の項に掲げる工場又は事業場 令第二条の四第五号スの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省 欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 汚泥、廃酸又は廃アルカリ (国内において生じ 47

の第三欄に掲げるとおりとする。基準省令別表第六の二二の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、

の第三欄に掲げるとおりとする 基準省令別表第六の二三の項の第二欄に掲げる物質に対応する同項 廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当該処理したものに含まれる判定 第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 の場合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の二三の項の 処理したものについて、当該処理したものが、廃酸又は廃アルカリ る工場又は事業場において生じたものに限る。) を処分するために 国内において生じたものにあつては、令別表第三の四六の項に掲げ ものに係る環境省令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ (令第二条の四第五号セのこれらの廃棄物を処分するために処理した 第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄に掲げるとおりとし、 ついては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の二三の項の 対応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃アルカリに 含まれる判定基準省令別表第五の二三の項の第二欄に掲げる物質に において生じたものに限る。) のうち、汚泥については当該汚泥に たものにあつては、令別表第三の四六の項に掲げる工場又は事業場 令で定める基準は、汚泥、廃酸又は廃アルカリ (国内において生じ | 令第二条の四第五号セの汚泥、廃酸又は廃アルカリに係る環境省

48 令第二条の四第五号ス及びン、第七号並びに第八号の環境省令で

49 50 別表第一の二四の項の第一欄に掲げる物質に対応する同項の第二欄 第三の四九の項に掲げる工場又は事業場において生じたものに限る 廃酸又は廃アルカリ(国内において生じたものにあつては、 四項第二号に掲げる廃棄物の焼却に伴つて生じたものを除く アルカリについては当該廃酸又は廃アルカリに含まれる別表第一の げる物質に対応する同項の第三欄に掲げるとおりとし、廃酸又は廃 当該汚泥に含まれる判定基準省令別表第五の二四の項の第二欄に掲 |又は事業場において生じたものに限る。) のうち、汚泥については おいて生じたものにあつては、 焼却に伴つて生じたものを除く。 令で定める基準は、 る物質に対応する同項の第三欄に掲げるとおりとする。 おりとし、 たものに含まれる判定基準省令別表第六の二四の項の第二欄に掲げ に掲げるとおりとし、 に処理したものに係る環境省令で定める基準は、汚泥(法第二条第 |四の項の第| 欄に掲げる物質に対応する同項の第| 欄に掲げると 廃酸又は廃アルカリの場合は当該廃酸又は廃アルカリに含まれる 令第二条の四第五号ンの汚泥、 (略 を処分するために処理したものについて、当該処理したものが 令第二条の四第五号ンのこれらの廃棄物を処分するため 汚泥(法第二条第四項第二号に掲げる廃棄物の 廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当該処理し 令別表第三の四九の項に掲げる工場 廃酸又は廃アルカリに係る環境省)、廃酸又は廃アルカリ(国内に 令別表 49

ラム以下であることとする。 定める基準は、ダイオキシン類の含有量が一グラムにつき三ナノグ

(略)

51 (略)

ラム以下であることとする。

げる基準は、環境大臣が定める方法により検定した場合における検53 第二項から第六項まで、第八項から第四十九項まで及び前項に掲

51

よるものとする。

できる場合) (特別管理一般廃棄物を区分しないで収集し、又は運搬することが

出値によるものとする。

第一条の九 令第四条の二第一号イ2の規定による環境省令で定める

場合は、次のとおりとする。

50(略)

準は、環境大臣が定める方法により検定した場合における検出値に「第二項から第六項まで及び第八項から第四十八項までに掲げる基

できる場合)(特別管理一般廃棄物を区分しないで収集し、又は運搬することが

場合は、次のとおりとする。第一条の九(令第四条の二第一号イ2)の規定による環境省令で定める

一 (略)

(特別管理産業廃棄物管理責任者の資格)

(特別管理産業廃棄物管理責任者の資格)

一 (略)

ものとする。 資格は、次の各号に定める区分に従い、それぞれ当該各号に定める第八条の十七 法第十二条の二第七項の規定による環境省令で定める

- | 感染性産業廃棄物を生ずる事業場
- イ(医師、歯科医師、薬剤師、獣医師、保健師、助産師、看護師)

衛生検査技師又は歯科衛生士

臨床検査技師、

口・八 (略)

二 (略)

別表第一 (第一条の二関係)

備考

- 規定に基づき環境大臣が定める方法により検定した場合に2.「検出されないこと。」とは、第一条の二第五十三項の

資格は、次の各号に定める区分に従い、それぞれ当該各号に定める第八条の十七 法第十二条の二第七項の規定による環境省令で定める

感染性産業廃棄物を生ずる事業場

ものとする。

、看護婦、看護士、臨床検査技師、衛生検査技師又は歯科衛生イ(医師、歯科医師、薬剤師、獣医師、保健婦、保健士、助産婦

 \pm

口・八 (略)

二 (略)

別表第一 (第一条の二関係)

三 (略) (略) 第 一 欄					
略)		Ξ	<u>\</u>		
(略) 二			(略)	第	
(略) 二	l				
略 二				欄	
略 二					
	ŀ			第	
欄				=	
				欄	

備考

- 規定に基づき環境大臣が定める方法により検定した場合に2.「検出されないこと。」とは、第一条の二第四十八項の

おいて、その結果が当該検定方法の定量限界を下回ること |

をいう。

をいう。

おいて、その結果が当該検定方法の定量限界を下回ること |

金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令
(昭和四十八年総理府令第五号)。
(抄)

(傍線部分は改正部分)

第一条 (略) (産業廃棄物の埋立処分に係る判定基準) 改 正 案	第一条 (略) (産業廃棄物の埋立処分に係る判定基準) (
6 令第六条第一項第三号ヨの同号八1に規定する燃え殻又はばいじ	6 令第六条第一項第三号力の同号八1に規定する燃え殻又はばいじ
んを処分するために処理したものに係る環境省令で定める基準及び	んを処分するために処理したものに係る環境省令で定める基準及び
同号目の同号八(3)に規定する汚泥を処分するために処理したものに	同号力の同号八3に規定する汚泥を処分するために処理したものに
係る環境省令で定める基準は当該産業廃棄物に含まれる別表第一の	係る環境省令で定める基準は当該産業廃棄物に含まれる別表第一の
一の項の第一欄に掲げる物質ごとに対応する同項の第二欄に掲げる	一の項の第一欄に掲げる物質ごとに対応する同項の第二欄に掲げる
とおりとし、同号ヨの括弧内の環境省令で定める基準以外の同号ヨ	とおりとし、同号力の括弧内の環境省令で定める基準以外の同号カ
の環境省令で定める基準は同号ヨに規定する産業廃棄物に含まれる	の環境省令で定める基準は同号力に規定する産業廃棄物に含まれる
別表第一の一の項の第一欄に掲げる物質ごとに対応する同項の第二	別表第一の一の項の第一欄に掲げる物質ごとに対応する同項の第二
欄に掲げるとおりとする。	欄に掲げるとおりとする。
7 令第六条第一項第三号夕の同号八5に規定する汚泥を処分するた	7 令第六条第一項第三号ヨの同号八のに規定する汚泥を処分するた
めに処理したものに係る環境省令で定める基準は当該産業廃棄物に	めに処理したものに係る環境省令で定める基準は当該産業廃棄物に
含まれる別表第一の七の項の第一欄に掲げる物質について同項の第	含まれる別表第一の七の項の第一欄に掲げる物質について同項の第
二欄に掲げるとおりとし、同号夕の括弧内の環境省令で定める基準	二欄に掲げるとおりとし、同号ヨの括弧内の環境省令で定める基準
以外の同号夕の環境省令で定める基準は同号夕に規定する産業廃棄	以外の同号ヨの環境省令で定める基準は同号ヨに規定する産業廃棄
物に含まれる別表第一の七の項の第一欄に掲げる物質について同項	物に含まれる別表第一の七の項の第一欄に掲げる物質について同項
の第二欄に掲げるとおりとする。	の第二欄に掲げるとおりとする。

| 同号レの汚泥を処分するために処理したものに含まれる別表第一の九の項から二二の項までの第一欄に掲げる物質ごとにそれぞれ当該各項の第二欄に掲げるとおりとし、同号レの括弧内の環境省令で定める基準以外の同号レの環境省令で定める基準以外の同号レの環境省令で定める基準はの項までの第一欄に掲げる物質ごとにそれぞれ当該各項の第二欄に掲げるとおりとし、同号レの括弧の項までの第一欄に掲げる物質ごとにそれぞれ当該各項の第二欄に掲げるとおりとし、同号レの括弧をしたものに係る環境省令で定める基準及びとのででの第一項に掲げるとおりとする。

(特別管理産業廃棄物の埋立処分に係る判定基準)

第三条 (略)

2~10 (略)

同号夕の第一欄に掲げる物質ごとにそれぞれ当該各項の第二欄に内の環境省令で定める基準以外の同号夕の環境省令で定める基準は当該汚泥又は当該汚泥を処分するために処理したものに含め項までの第一欄に掲げる物質ごとにそれぞれ当該各項の第二欄に掲げるとおりとし、同号夕の括弧とにそれぞれ当該各項の第二欄に掲げるとおりとし、同号夕の括弧とにそれぞれ当該各項の第二欄に掲げるとおりとし、同号夕の括弧をしたものに含める基準は当該汚泥を処分するために処理したものに含め項までの第一欄に掲げる物質ごとにそれぞれ当該各項の第二欄に掲げる物質ごとにそれぞれ当該各項の第二欄に掲げるとおりとする。

(特別管理産業廃棄物の埋立処分に係る判定基準)

第三条 (略)

2 10 (略)

| いう。) 三ナノグラム以下とする。 | 成十一年法律第百五号)第二条第一項に規定するダイオキシン類を | グラムにつきダイオキシン類(ダイオキシン類対策特別措置法(平 | 1 令第六条の五第一項第三号ソの環境省令で定める基準は、試料 | |

は、別表第五の九の項から二二の項までの第一欄に掲げる汚泥にあ2 令第六条の五第一項第三号ツの汚泥に係る環境省令で定める基準

12

令第六条の五第一項第三号ツの汚泥に係る環境省令で定める基準

別表第五の九の項から二二の項まで及び二四の項の第一欄に掲

とおりとする。

含まれる同項の第一

|欄に掲げる物質について同項の第三欄に掲げる

は

同号ツの汚泥を処分するために処理したものに係る環境省令で定め 汚泥を処分するために処理したもので同号ツの括弧内の環境省令で 同号ツの環境省令で定める基準は、同号ツに規定する汚泥又は当該 掲げるとおりとし、同号ツの括弧内の環境省令で定める基準以外の 当該産業廃棄物に含まれる別表第一の九の項から二二の項まで及び おりとし、指定下水汚泥を処分するために処理したものにあつては 項から二二の項まで及び二四の項の第一欄に掲げる汚泥を処分する めに処理したものに係る環境省令で定める基準は、別表第六の九の 当該各項の第二欄に掲げるとおりとし、同号ツの汚泥を処分するた ら二二の項まで及び二四の項の第一欄に掲げる物質ごとにそれぞれ 物質ごとにそれぞれ当該各項の第三欄に掲げるとおりとし、指定下 げる汚泥にあつては当該汚泥に含まれる当該各項の第二欄に掲げる で定める基準のとおりとし、汚泥であるもの以外のものにあつては 定める基準に適合しないものを処分するために処理したもののうち の第二欄に掲げる物質ごとにそれぞれ当該各項の第三欄に掲げると ために処理したものにあつては当該産業廃棄物に含まれる当該各項 水汚泥にあつては当該指定下水汚泥に含まれる別表第一の九の項か |四の項の第一欄に掲げる物質ごとにそれぞれ当該各項の第二欄に 汚泥であるものにあつては同号ツに規定する汚泥に係る環境省令

別表第一(第一条、第三条関係)

る基準のとおりとする。

<u>\</u>	
(鮥)	第一欄
(略)	第二欄

境省令で定める基準のとおりとする。 のにあつては同号ツの汚泥を処分するために処理したものに係る環 係る環境省令で定める基準のとおりとし、汚泥であるもの以外のも たもののうち、汚泥であるものにあつては同号ツに規定する汚泥に の環境省令で定める基準に適合しないものを処分するために処理し 汚泥又は当該汚泥を処分するために処理したもので同号ツの括弧内 る基準以外の同号ツの環境省令で定める基準は、同号ツに規定する 項の第二欄に掲げるとおりとし、同号ツの括弧内の環境省令で定め の項から二二の項までの第一欄に掲げる物質ごとにそれぞれ当該各 に処理したものにあつては当該産業廃棄物に含まれる別表第一の九 該各項の第三欄に掲げるとおりとし、指定下水汚泥を処分するため 廃棄物に含まれる当該各項の第二欄に掲げる物質ごとにそれぞれ当 欄に掲げる汚泥を処分するために処理したものにあつては当該産業 境省令で定める基準は、別表第六の九の項から二二の項までの第一 とおりとし、同号ツの汚泥を処分するために処理したものに係る環 での第一欄に掲げる物質ごとにそれぞれ当該各項の第二欄に掲げる ては当該指定下水汚泥に含まれる別表第一の九の項から二二の項ま れぞれ当該各項の第三欄に掲げるとおりとし、指定下水汚泥にあつ つては当該汚泥に含まれる当該各項の第二欄に掲げる物質ごとにそ

別表第一 (第一条、第三条関係)

<u>\frac{\frac{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\chi}}}}{-}} \limits_{-}} \end{array}</u>	
(略)	第一
	欄
— (略	第
	_
	欄

		は	ビ	理	は	2		条.	1	備考								四四	Ξ
環境大臣が この表の二 こりで表示	ひせた場合	はいじんに	フェニル汚	したもの又	払さい若し	石しくはレ	^{垻第三号八}	の規定に基	この表の一		。以下同じ。	オキシン	頃に規定	五号)第二条第一	成十一年法律第百	策特別措	ダイオキシン類対	ダイオキシン類(
ツに掲げる指定下水汚泥又は指定下水き環境大臣が定める方法により令第一この表の二四の項に掲げる基準は、度として表示されたものとする。	における当	含まれる当	染物の焼却	は廃ポリ塩	くはこれら	に規定する	(1)から(5)ま	づき環境大	の項から		じ。) 	オキシン類をいう	項に規定するダイ	二条第一	法律第百	策特別措置法 (平	シン類対	シン類(
では指定できます。	該各項の窓	該各項の第	により生	化ビフェー	の産業廃棄	産業廃棄	でに掲げる	(臣が定める	三の項ま								類三ナノ	試料一グ	
ド水汚泥を 第四条	- 用に掲	第一欄に掲	した燃え殻	ニル等若し	果物を処分	物、指定下	る産業廃棄	る方法によ	でに掲げる								類三ナノグラム以下	フムにつき	
ツに掲げる指定下水汚泥又は指定下水汚泥を処分するためき環境大臣が定める方法により令第六条の五第一項第三号この表の二四の項に掲げる基準は、第四条の規定に基づ度として表示されたものとする。	出させた場合における当該各項の第二欄に掲げる物質の濃	はばいじんに含まれる <u>当該各項</u> の第一欄に掲げる物質を溶	ビフェニル汚染物の焼却により生じた燃え殻、汚泥若しく	理したもの又は廃ポリ塩化ビフェニル等若しくはポリ塩化	は鉱さい若しくはこれらの産業廃棄物を処分するために処	夕若しくはレに規定する産業廃棄物、指定下水汚泥若しく	項第三号八1)かららまでに掲げる産業廃棄物、同号ヨ	条の規定に基づき環境大臣が定める方法により令第六条第	この表の一の項から二三の項までに掲げる基準は、第四									試料一グラムにつきダイオキシン	
<mark>め 哥 ゔ</mark>	濃	溶	ζ	花	処	<	~	第	笽									기	
																			•
									1	備考									=
のとする	当該各項	表の各項	より生じ	ビフェー	産業廃棄	業廃棄物	に掲げる	が定める	1 この	備考									
のとする。	当該各項の第二卿	表の各項の第一牌	より生じた燃えむ	ビフェニル等若-	産業廃棄物を処分	業廃棄物、指定下	に掲げる産業廃棄	が定める方法によ	この表	備考									Ξ
のとする。	当該各項の第二欄に掲げる	表の各項の第一欄に掲げる	より生じた燃え殻、汚泥芸	ビフェニル等若しくはポー	産業廃棄物を処分するため		に掲げる産業廃棄物、同日	が定める方法により令第十	この表	備考									Ξ
のとする。	当該各項の第二欄に掲げる物質の漕	表の各項の第一欄に掲げる物質を溶	より生じた燃え殻、汚泥若しくはば	ビフェニル等若しくはポリ塩化ビス	産業廃棄物を処分するために処理し		に掲げる産業廃棄物、同号力、ヨギ	が定める方法により令第六条第一項	この表	備考									
のとする。	当該各項の第二欄に掲げる物質の濃度として	表の各項の第一欄に掲げる物質を溶出させた	より生じた燃え殻、汚泥若しくはばいじんに	ビフェニル等若しくはポリ塩化ビフェニル汚	産業廃棄物を処分するために処理したもの又		に掲げる産業廃棄物、同号力、ヨ若しくは夕	が定める方法により令第六条第一項第三号ハ	この表	備考									=
のとする。	当該各項の第二欄に掲げる物質の濃度として表示されたも	表の各項の第一欄に掲げる物質を溶出させた場合における	より生じた燃え殻、汚泥若しくはばいじんに含まれるこの	ビフェニル等若しくはポリ塩化ビフェニル汚染物の焼却に	産業廃棄物を処分するために処理したもの又は廃ポリ塩化	業廃棄物、指定下水汚泥若しくは鉱さい若しくはこれらの	に掲げる産業廃棄物、同号力、ヨ若しくは夕に規定する産	が定める方法により令第六条第一項第三号八(1)から(5)まで		備考									Ξ

質の濃度として表示されたものとする。 げる物質を検定した場合における同項の第二欄に掲げる物 に処理したものに含まれるこの表の二四の項の第一欄に掲

3 (略)

別表第二(第二条関係)

備考

1 (略)

2 準について準用する。 別表第一の備考3の規定は、この表の一の項に掲げる基

別表第三 (第二条関係)

備考

1 (略)

2 七の項及び八の項に掲げる基準について準用する。 別表第一の備考3の規定は、この表の一の項、 四の項、

別表第四 (第二条関係)

備考

1 (略)

2 別表第一の備考3の規定は、この表の一の項に掲げる基

準について準用する。

別表第五 (第三条関係)

Ξ	<u>\frac{\frac{1}{3}}{-}</u>	
	(略)	第
		_
		欄
	(略	第
	<u>"</u>	=
		欄
	(略	第
	Ü	Ξ
		欄

別表第二 (第二条関係)

備考

(略)

1

2 別表第一の備考2の規定は、この表の一の項に掲げる基

別表第三 (第二条関係) 準について準用する

備考

1 (略)

2 別表第一の備考2の規定は、この表の一の項、四の項、

七の項及び八の項に掲げる基準について準用する。

別表第四 (第二条関係)

備考

1 (略)

2 準について準用する。 別表第一の備考2の規定は、この表の一の項に掲げる基

別表第五 (第三条関係)

Ξ <u>\</u> 第 (略) 欄 第 (略) 欄 第 (略) Ξ 欄

2 (略)

2 月 れ き の の A 理 - 1 連	をい	条(1	備考												<u>_</u> 四
すの第三欄に掲げる物質の濃度として表示されたものとする。 この表の二四の項に掲げる物質を検っての表の二四の項に掲げる場質を検っての表の二四の項に掲げる基準は、	浴出させた	の規定に基	この表の一		ものに限る。)	又は事業	に掲げる	別表第五	生じたも) 又は活	おいて生	0 = 0	のにあつ	ん(国内	たものを除く。	燃え殻(
	た場合におん泥に含ま	ぎつき環境	の項から		る。)	又は事業場において生じた	に掲げる施設を有する工場	別表第五の二四の項の中欄	生じたものにあつては、) 又は汚泥 (国内において	おいて生じたものに限る。	の一三の項に掲げる施設に	のにあつては、令別表第三	ん(国内において生じたも	除く。)	燃え殻(国内において生じ
質 が 法により	ける当該	大臣が定	三三の項			て生じた	する工場	項の中欄	ては、令	において	に限る。	る施設に	別表第三	生じたも)、ばいじ	いて生じ
る。	を溶出させた場合における当該各項の第三欄に掲げる物質いじん又は汚泥に含まれる当該各項の第二欄に掲げる物質	条の規定に基づき環境大臣が定める方法により燃え殻、	この表の一の項から二三の項までに掲げる基準は、第四												ン類	ダイオキシ
がされた。 はばいじん たまがした。 おりだん	欄に掲げ 欄に掲げ	より燃え	でる基準は									ラム	類三	イオ	싀	
の け に に る 基 す 同 ま づ	るる物質	殻 ば	第四									ラム以下	類三ナノグ	イオキシン	ムにつきダ	試料ーグラ
たものとする。	ける当該各項の第三欄に掲げる物での表の各項の第二欄に掲げる物	が定める方法により燃え殻、ばい	1 この表に掲げる基準は、第四条	備考												
たものとする。	ける当該各項の第三欄に掲げる物質の濃度として表示されこの表の各項の第二欄に掲げる物質を溶出させた場合にお	が定める方法により燃え殻、ばいじん又は汚泥に含まれる	1 この表に掲げる基準は、第四条の規定に基づき環境大臣	備考												

										別		
								= <u>{</u>		表第六(準	3
、令別表第五の二四の項のる。) 又は汚泥 (国内において生じたものにあつては	項同けて	らりこまる。 / 、ばいジル掲げる施設において生じた / の一四の項に	に伴つて生じたものを除き	三十七号)第二条第四項第	律(昭和四十五年法律第百の処理及び清掃に関する法	たものにあつては、廃棄物	燃え殻(国内において生じ	(略)	第一欄	別表第六 (第三条関係)	準について準用する。	別表第一の備考3の規定は、こ
						対類	ダイオキシ	(略)	第二欄			この表の一の項に掲げる基
				ラム以下	類三ナノグ	ムにつきダ	試料ーグラ	(略)	第三欄			点に掲げる基
							= = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	= <u>{</u>		別表第六(準に	2
								(略)	第一欄	別表第六 (第三条関係)	準について準用する。	別表第一の備考2の規定は、この表の一の項に掲げる基
								(略	第	_		この表
								O	二 欄			の の

準について準用する。	3 別表第一の備考3の規定は、この表の一の項に掲げる基 基準について準用する。	2 別表第五の備考2の規定は、この表の二四の項に掲げる	項までに掲げる基準について準用する。	1 別表第五の備考1の規定は、この表の一の項から二三の	備考	するために処理したもの	じたものに限る。)を処分	工場又は事業場において生中欄に掲げる施設を有する
準について準用する。	2 別表第一の備考2の規定は、この表の一の項に掲げる基		て準用する。	1 別表第五の備考1の規定は、この表に掲げる基準につい	備考			

準を定める省令 (昭和四十八年総理府令第六号) (抄) 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律施行令第五条第一項に規定する埋立場所等に排出しようとする金属等を含む廃棄物に係る判定基 (傍線部分は改正部分)

第六条の五第一項第三号ツに規定する汚泥又は当該汚泥を処分する	に規定する汚泥又は当該汚泥を処分するために処理したものにあつ
に掲げるとおりとし、廃棄物処理令第六条第一項第三号レ若しくは	理令第六条第一項第三号八5若しくは第六条の五第一項第三号イ5
ものにあつては別表第一第八号上欄に掲げる物質について同号下欄	料一グラムにつきダイオキシン類三ナノグラム以下とし、廃棄物処
第三号イ5に規定する汚泥又は当該汚泥を処分するために処理した	令別表第五の二四の項の下欄に掲げる物質を含むものにあつては試
、 廃棄物処理令第六条第一項第三号八5若しくは第六条の五第一項	若しくは当該汚泥を処分するために処理したもののうち廃棄物処理
あつては試料一グラムにつきダイオキシン類三ナノグラム以下とし	廃棄物又は廃棄物処理令第六条の五第一項第三号ツに規定する汚泥
「廃棄物処理令」という。) 第二条の四第五号ンに掲げる廃棄物に	「廃棄物処理令」という。) 第二条の四第八号及び十一号に掲げる
理及び清掃に関する法律施行令(昭和四十六年政令第三百号。以下	理及び清掃に関する法律施行令 (昭和四十六年政令第三百号。以下
条第三項の表第一号下欄口の環境省令で定める基準は、廃棄物の処	条第三項の表第一号下欄口の環境省令で定める基準は、廃棄物の処
該環境省令で定める基準以外の同号の環境省令で定める基準及び同	該環境省令で定める基準以外の同号の環境省令で定める基準及び同
第二条の第五条第一項第九号の括弧内の環境省令で定める基準、当	第二条(令第五条第一項第九号の括弧内の環境省令で定める基準、当
(汚泥等に係る判定基準)	(汚泥等に係る判定基準)
キシン類をいう。次条において同じ。) 三ナノグラム以下とする。	キシン類をいう。以下同じ。) 三ナノグラム以下とする。
措置法(平成十一年法律第百五号)第二条第一項に規定するダイオ	措置法(平成十一年法律第百五号)第二条第一項に規定するダイオ
は、試料一グラムにつきダイオキシン類(ダイオキシン類対策特別	は、試料一グラムにつきダイオキシン類(ダイオキシン類対策特別
及び当該環境省令で定める基準以外の同号の環境省令で定める基準	及び当該環境省令で定める基準以外の同号の環境省令で定める基準
第一条の二 令第五条第一項第八号の括弧内の環境省令で定める基準	第一条の二 令第五条第一項第八号の括弧内の環境省令で定める基準
(ばいじん、燃え殻等に係る判定基準)	(ばいじん、燃え殻等に係る判定基準)
現	改正案

げるとおりとする。

第三一号までの上欄に掲げる物質ごとにそれぞれ当該各号下欄に掲第一項第三号ツに規定する汚泥又は当該汚泥を処分するために処理第一項第三号ツに規定する汚泥又は当該汚泥を処分するために処理ないとし、廃棄物処理令第六条第一項第三号レ若しくは第六条の五では別表第一第八号上欄に掲げる物質について同号下欄に掲げると

(廃酸又は廃アルカリに係る判定基準)

第三条 (略)

られている余水吐きから海水が流出する場合において適用される当 学までの中欄に掲げる物質に係る許容限度(当該埋立場所等に設けられている余水吐きから海工頭の規定に基づき定められた別表第二項の規定に基づき定められた別表第二項の規定に基づき定められた別表第二項の規定に基づき定められた別表第二第一号から第二三年の中欄に掲げる物質に係る許容限度を定める排水基準又はダイオキシン類対策特別措置法第八条第三項の規定に基づき定められた別表第二第一号から第二三年にかかわらず、当該基準に係る許容限度を定める排水基準又はダイオキシン類対策特別措置法第八条第三項の規定に基づき定められばが表準である。 世立場所等に設けられている余水吐きから海水が流出する場合において適用される当 は、当該基準に係る許容限度(当該埋立場所等に設けられている余水吐きから海水が流出する場合において適用される当 は、当該基準に係る許容限度(当該埋立場所等に設ける が通に規定する基準は、廃酸又は廃アルカリを排出しようとする が通に規定する基準は、廃酸又は廃アルカリを排出しようとする

別表第二 (第三条関係)

い基準に係る許容限度) とする。

該基準が二以上定められている場合にあつては、 そのうち最も厳し

(略)	
(略)	•
(略)	

号下欄に掲げるとおりとする。二〇号から第三一号までの上欄に掲げる物質ごとにそれぞれ当該各ために処理したものにあつては別表第一第一三号、第一四号及び第

(廃酸又は廃アルカリに係る判定基準)

第三条 (略)

(当該埋立場所等に設けられている余水吐きから海水が流出する海洋において適用される水質汚濁防止法 (昭和四十五年法律第百三十八号)第三条第三項の規定に基づき定められた別表第二の各号中欄に掲げる物質に係る許容限度を定める排水基準があるときは、当該排水基準に係る許容限度 (当該埋立場所等に設けられている余水吐きから海水が流出する場合にあつては、前項の規定にかかわらず、当該排水基準があるときは、当該排水基準に係る許容限度 (当該埋立場所等に設けられている余水吐きから海水が流出する海洋におれている場合にあつては、そのうち最も厳しい排水基準が高ときは、当該排水基準に係る許容限度)とする。

別表第二 (第三条関係)

(略)	
(略)	
(略)	

\smile	いて生じたものに限る。	する工場又は事業場にお	の中欄に掲げる施設を有	理令別表第五の二四の項	のにあつては、廃棄物処	(国内において生じたも)ン類	二四 廃酸又は廃アルカリ ダイオキシ 試料 リットルにつ
						ン 類	ダイオキシ
					〇ピコグラム以下	きダイオキシン類一	試料ーリットルにつ

廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則の一部を改正する省令(平成十二年厚生省令
省令第二
写) (抄)

(傍線部分は改正部分)

						l »	正	カ	は	3	しない。	理したものについては、平成十四年十一月三十日までの間は、適用 る	排出される汚泥及びばいじん、燃え殻又は汚泥を処分するために処しし	年法律第百五号)第二条第二項に規定する特定施設をいう。)から 年	焼却炉である特定施設(ダイオキシン類対策特別措置法(平成十一 焼	省令の施行の際現に設置され、又は設置の工事がされている廃棄物――――――――――――――――――――――――――――――――――――	改正後の第一条第三項及び第一条の二第四十八項の規定は、この 2	(経過措置) (改正案
属が溶出しないよう化学的に安定した状態にする方法	薬剤処理設備を用いて十分な量の薬剤と均質に練り混ぜ、重金	化する方法	とともに、適切に造粒し、又は成形したものを十分に養生して固	定した状態にするために十分な量のセメントと均質に練り混ぜる	セメント固化設備を用いて重金属が溶出しないよう化学的に安	°	正後の第一条第三項及び第一条の二第四十八項の規定は、適用しな	れる汚泥等については、次に掲げる方法により処分を行う限り、改	は設置の工事がされている廃棄物焼却炉である特定施設から排出さ	前項に定めるもののほか、この省令の施行の際現に設置され、又	成十四年十一月三十日までの間は、適用しない。	るために処理したもの(以下「汚泥等」という。)については、平	じ。) から排出される汚泥及びばいじん、燃え殻又は汚泥を処分す	年法律第百五号)第二条第二項に規定する特定施設をいう。以下同	焼却炉である特定施設(ダイオキシン類対策特別措置法(平成十一	省令の施行の際現に設置され、又は設置の工事がされている廃棄物	改正後の第一条第三項及び第一条の二第四十八項の規定は、この	(経過措置)	現

又は製錬工程において重金属を回収する方法理に伴って生ずる汚泥について、重金属が溶出しない状態にし、もに、当該溶出液中の重金属を沈殿させ、当該沈殿物及び脱水処三、酸その他の溶媒に重金属を溶出させた上で脱水処理を行うとと

金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める総理府令の一部を改正する総理府令(平成十二年総理府令第一号)(抄) (傍線部分は改正部分)

											までの間は、適用しない。	処分するために処理したものについては、平成十四年十一月三十日	いう。) から排出される汚泥又はばいじん、燃え殻若しくは汚泥を	ダイオキシン類対策特別措置法第二条第二項に規定する特定施設を	され、又は設置の工事がされている廃棄物焼却炉である特定施設 (2 改正後の第三条第十一項の規定は、この府令の施行の際現に設置	(経過措置)	改正案
三 酸その他の溶媒に重金属を溶出させた上で脱水処理を行うとと	属が溶出しないよう化学的に安定した状態にする方法	薬剤処理設備を用いて十分な量の薬剤と均質に練り混ぜ、重金	する方法	ともに、適切に造粒し、又は成形したものを十分に養生して固化	定した状態にするため十分な量のセメントと均質に練り混ぜると	セメント固化設備を用いて重金属が溶出しないよう化学的に安	正後の第三条第十一項の規定は、適用しない。	れる汚泥等については、次に掲げる方法により処分を行う限り、改	は設置の工事がされている廃棄物焼却炉である特定施設から排出さ	3 前項に定めるもののほか、この府令の施行の際現に設置され、又)については、平成十四年十一月三十日までの間は、適用しない。	くは汚泥を処分するために処理したもの(以下「汚泥等」という。	いう。以下同じ。) から排出される汚泥又はばいじん、燃え殻若し	ダイオキシン類対策特別措置法第二条第二項に規定する特定施設を	され、又は設置の工事がされている廃棄物焼却炉である特定施設(2 改正後の第三条第十一項の規定は、この府令の施行の際現に設置	(経過措置)	現

理に伴って生ずる汚泥について、重金属が溶出しない状態にし、

もに、当該溶出液中の重金属を沈殿させ、当該沈殿物及び脱水処

又は製錬工程において重金属を回収する方法

環境事業団法施行規則(昭和四十年圓商産業省令第一号)(抄)

環境事業団法施行規則(昭和四十年圓商産業省令第一号)(抄)	(傍線部分は改正部分)
改正案	現
(環境に影響を及ぼすおそれの少ない廃棄物の基準)	(環境に影響を及ぼすおそれの少ない廃棄物の基準)
第一条 (略)	第一条 (略)
2 前項に定める基準は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規	2 前項に定める基準は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規
則 (昭和四十六年厚生省令第三十五号) 第一条の二第五十三項に規	則(昭和四十六年厚生省令第三十五号)第一条の二第五十一項に規
定する環境大臣が定める方法の例により検定した場合における検出	定する環境大臣が定める方法の例により検定した場合における検出
値によるものとする。	値によるものとする。

第一条

2

ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法施行規則(平成十三年環境省令第二十三号)(抄)

(傍線部分は改正部分)

値によるものとする。	定する環境大臣が定める方法の例により検定した場合における検出則(昭和四十六年厚生省令第三十五号)第一条の二第五十三項に規		第二条 (略) 第三条 (略) (m) 第三条 (m)	(環境に影響を及ぼすおそれの少ない廃棄物の基準)	改正案
値によるものとする。	定する環境大臣が定める方法の例により検定した場合における検出則(昭和四十六年厚生省令第三十五号)第一条の二第五十一項に規	2 前項に定める基準は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規	第二条 (略)	(環境に影響を及ぼすおそれの少ない廃棄物の基準)	現